

令和8年度



10月ようちえんだより



二亀幼 HP

令和8年9月29日
江東区立第二亀戸幼稚園
園長 芦田 敦子

こどもも教師も 幼小連携

園長 芦田 敦子

秋の長雨が続き、本来、こどもたちにとっては戸外で体を動かして遊ぶのにちょうどよい時期のはずが、空を眺めながら雨の間を縫うように遊んでいます。それでも担任が「面白そう」で、「やってみたくなる」環境を日々工夫しているため、お天気に関わらずこどもたちは自分のやりたいことを見つけて遊びを楽しんでいます。一見、当たり前のように見えるこの光景は、実は幼児期のこどもたちにとって心身ともに大きく育っている姿であり、その姿を支える本園の空間は、質の高い環境・教育なのです。

最近、様々なニュースなどで、「日本の学習指導要領が新しくなる」と取り上げられていることをご存じでしょうか。およそ10年に一度改訂する、日本の教育の方向性ですが、幼児教育もまた、令和10年度から新しい「幼稚園教育要領等」に改訂されます。これまでも大切にされてきた「遊びを通しての教育」をさらに分かりやすく、小学校以降の教育とのつながりを「やってみたい」を軸に、こどもの主体性を育てていこうとする内容です。

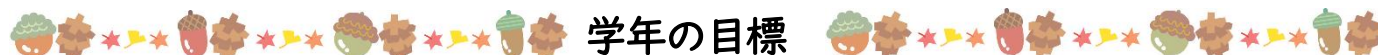
第二亀戸幼稚園は第二亀戸小学校との連携も活発に行っていて、先日は小学校の先生方が交代しながら保育参観を通した研修に来てくださいました。日頃近い環境で過ごしていても、遊びの様子をじっくり見ることはなかなか叶わない状況ですが、研修として予定を組んでくださることで、こどもたちの自然な遊びと日常の中で整えている環境を見ていただくことができました。

ある日の参観中のこと、年中組では好きな遊びの時間に担任がフィンガーペインティングの環境を用意すると、こどもたちが目をキラキラさせながら「やってみたい!」と集まってきました。担任も楽しそうに手に絵の具を付け、「気持ちいいね!」とヌルヌルの手で握手したり、興味をもって見ていたこどもたちにも「楽しいよ!」と手を見せたりしていました。すると「僕も!」「私も!」と遊びの中に入ってきて、感触を楽しんだり友達と色の混ざり具合を見せ合ったりして楽しんでいます。しばらくして担任がアクリルボードに指で絵を描き始めると、こどもでも「あ!私もやる!」とさらに夢中になって楽しむ姿がありました。

参観していた小学校の先生も、楽しそう、だけではなく、一人一人がそれぞれ違う楽しみ方(学び)をしていることや、自分から「やりたい」と思えるような環境、笑顔で楽しそうな担任の表情、新たな刺激を取り入れていこうとするための環境の再構成を見て、とても勉強になりました、と言ってお帰りになりました。

幼稚園と小学校との連携は、環境面や授業などの計画への位置付けにより、簡単にはいかないことも多くありますが、チーム二亀では貴重な環境を生かし柔軟に計画を行っています。これからも共に学び合いながら地域のこどもたちを支えていきたいと思っています。

また、今月の運動会は第二亀戸小学校の体育館をお借りして行います。本園のこどもたちにとって、日常的に活用している小学校の体育館は身近な場所です。その身近な場所で、こどもたちが力を十分に発揮できますよう、ぜひご参観いただき、温かい声援をよろしくお願いいたします。



学年の目標

年中ばら組

- ・運動会の取り組みの中で、教師や友達、年長児と一緒に体を動かしたり、みんなで一緒に活動したりすることを楽しむ。
- ・友達に自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ・季節の変化を感じながら、秋の自然に興味や関心をもって観察したり、遊びに取り入れたりする。

年長ゆり組

- ・運動会に向けた活動を通して、自分の力を発揮したり、友達や学級の皆で協力したりする充実感を味わう。
- ・様々な秋の自然に触れる中で、面白さや不思議さを感じたり、自然物への興味や関心を深めたりする。
- ・地域の方や講師の先生など様々な人に親しみをもって関わり、ともに過ごす楽しさを味わう。